



◎本ニュースレターは、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

今号では、木曽三川流域エコネット応援団の参加団体および木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会の関係団体の活動報告に加え、助成金制度や顕彰制度に応募し採択された経験を持つ応援団参加団体のうち、2つの団体へ体験談などをお伺いしました。助成金等を活用して、活動の幅を広げたり、関係者の意識向上に役立っているようです。エコネット応援団事務局では、応援団のみさんへ助成金情報などをメールで配信していますので、ぜひ、ご活用くださいね。

〔愛知県江南市〕

尾張西部生態系ネットワーク協議会様
より活動報告です！

2024年5月25日（土）

尾張西部生態系ネットワーク協議会主催 『緊急招集 オオキンケイギク駆除大作戦!』

5月25日(土)に、尾張西部生態系ネットワーク協議会主催のイベント『緊急招集 オオキンケイギク駆除大作戦!』をフラワーパーク江南の西側広場にて開催しました。

当日は、尾張西部生態系ネットワーク協議会メンバーの他、地元の高校生や大学生にもご参加頂き、総勢40名ほどで、駆除活動を実施しました。オオキンケイギクは、5～6月にかけて黄色い花を咲かせる特定外来生物で、繁殖力が強く在来植物の脅威となっています。対象エリアには貴重な在来植物も多く繁茂しており、駆除は必須。在来植物を守るために一生懸命取り組みました。



▲手前の黄色い花がオオキンケイギク。平成18年に外来生物法による「特定外来生物」に指定され、生きたままの運搬、栽培、販売などが原則として禁止されています。



▲参加者みんなで記念撮影。たくさんの方々にご参加いただきました。

今回は駆除だけでなく、楽しむことも重要と捉え、“チーム対抗”で、オオキンケイギクを抜き取り、重さを競い合いました！学生の皆さんの若いパワーだけでなく、大人たちも本気で抜き取りを行う様子が印象的でした。駆除の甲斐もあり、イベント終了時には対象エリアのオオキンケイギクはほとんど見られなくなりました。また、駆除が完了した場所には、在来タンポポの種子を播種しました。来年、在来植物が少しでも増えてくれると嬉しいです。

今回の活動を通じて、参加者の皆様にはオオキンケイギクの脅威と駆除の重要性についてご理解頂けたと思います。根絶には長い時間を要すると思いますが、今後も楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。

〔愛知県一宮市、岐阜県羽島市〕

環境省中部地方環境事務所様より活動報告です！

2024年5月19日（日）

イタセンバラを守ろう！ 木曽川水系イタセンバラ保護協議会 「第16回木曽川合同パトロール」を 実施しました

木曽川水系イタセンバラ保護協議会では、5月19日（日）にイタセンバラの保護意識の普及啓発・密漁監視を目的とした「第16回木曽川合同パトロール」を実施しました。

当日は小雨模様でしたが、一宮市起地区、羽島市石田地区に合わせて77名という多くの方に御参加いただきました。また、昨年と同じく三世交代木曽川ウォーキング大会の方々にもイタセンバラの説明等をさせていただくことができました。木曽川のワンド環境は年々変化しており、継続して参加していただいている方にはイタセンバラの生息する「氾濫原」という環境の特徴もよく観察してもらえたのではないかと思います。

今後も、イタセンバラ保全のため皆様のご協力をお願い致します。



◀羽島市石田地区の様子

▼一宮市起地区の様子



池田町 ハリヨを守る会の皆様が、 『ハリヨ学習会』を実施しました！

5/27（月）上八幡集落センターにて、池田町 ハリヨを守る会の皆様、池田町立八幡小学校からの派遣依頼を受け、小学4年生に向けたハリヨ学習会を実施しました。八幡小学校では7年以上にわたりハリヨの学習会が実施されており、2クラス50人の小学生がハリヨや環境について学びました。

学習会では、まず、事務局で作成した、「木曽川のワンドとイタセンパラ」、「揖斐川の湧き水とハリヨ」の3D動画を上映し、イタセンパラとハリヨの生態や生息地、地域の保護活動について知ってもらいました。そして、ハリヨを守る会の竹中様から、ハリヨの生態や池田町の清水池の歴史、川をきれいに保つことの大切さに関する講話がありました。

た。子供たちはメモを取りながら、動画や講話をとっても興味深く聞いている様子でした。子どもたちからは、ハリヨは何年くらい生きるのか、ハリヨはなぜ冷たい水にいるのかといった質問や、これからハリヨを守ることを意識していきたい、いろいろな人がイタセンパラやハリヨのために活動しているということがわかった等の感想をもらいました。

これからも、イタセンパラやハリヨを通じて、子供たちに生き物や環境により興味を持ってもらい、それらを守ることの大切さを伝えていきます。



室内学習の様子。この後、清水池の見学と実際に生きたハリヨの観察を行い、理解を深めていました。

助成金・顕彰制度に応募してみませんか？

助成金や顕彰制度に応募した経験があるエコネット応援団のみなさんに体験談をお伺いしました。みなさんも応募してみませんか？

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 （劇団シンデレラ）

①応募する際に必要なことや苦労話

愛知県からの助成金を1円も無駄にしない気持ちが大切で、劇団員全員で何度も話し合いをしました。報告書の計算ミスや書類の誤字等があり、担当者の方に迷惑をかけてしまいました。

②採択されてよかったこと

頂いた助成金で衣装を作ったり、大道具用の角材を購入したりしました。それを1回だけじゃなく、何回も使わせていただき感謝しかありません。活動報告会では他団体とも交流でき、公演依頼もいただくことができました。愛知県内で、森や緑、環境に対して、同じ未来に向かって頑張っている人たちとつながることができて本当にうれしいです。

中部の未来創造大賞 （愛知県立一宮高等学校 生物部）

本校はこれまでエコネット応援団が紹介する助成金や顕彰で賞をいただきました。沢山ある中で、特に「書類審査を設定しており、生徒が活動の魅力をアピールしやすいもの」を選んで応募しました。

①応募する際に必要なことや苦労話

一方で、魅力を伝えるためには沢山の活動写真や動画が必要です。本校は活動写真ばかりで、活動中の動画があまりなかったのですが「中部の未来創造大賞」では、二次審査で使用する活動紹介動画を2週間程度で作成しなければならず苦労しました。時間がない中で審査資料を作る必要がある顕彰もあるので、日頃から活動記録を様々な形で残しておくことや、編集能力が必要になります。

②応募してよかったこと

審査に必要な書類や動画は基本的に生徒に作成させ、教員が添削して提出をしたのですが、自分たちの活動を見つめ直したり、「受賞したからには今後にもつなげなければ」という意識を強く持ったりするきっかけになりました。



木曽三川流域エコネット応援団事務局の Instagram アカウントを開設いたしました！

https://www.instagram.com/kiso_econet/

※ Instagram の運用にあたり、運用方針を取り決めさせていただきましたので、ご一読いただき、ぜひフォローしてください！



KISO_ECONET

掲載用情報を募集しています！

事務局では、このニュースレターや facebook ページで、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。（なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。）

事務局では、このニュースレターや facebook ページで、木曽三川流域

！ぜひご覧ください！



Facebookにて
情報を発信中！

<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所）は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う（または賛同する）、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有等を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojoyo/econet/index.html>

木曽三川流域エコネット応援団 事務局：国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課（岐阜県岐阜市忠節町 5-1）

【問い合わせ先】木曽川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisojoyo-chosa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125

